

PROLOGUE

木二中 学校だより No.32 令和7年1月8日
校長 山元 竜二

木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233

E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。令和7年もどうぞ木更津第二中学校をよろしく願いいたします。

令和6年度第3学期を1月6日(月)に迎え、非常に寒い中ではありましたが新学期始業式をとり行うことができました。意見発表をした3名の生徒をはじめ、どの生徒も良い緊張感で引き締まった表情をしていました。厳かな雰囲気で行われた始業式の「校長の話」として、全校生徒には次のように伝えました。

校歌について

今から41年前、第56回全国高校野球選抜大会に初出場、奈良智辯学園との1回戦を迎えた甲子園球場へと続く薄暗い控え通路で、緊張感で押しつぶされそうだったナインがとった行動は何だったか?♪遙かに 富士を 仰ぎ見る…♪ 誰が歌い始めたか、「校歌」であったこと。

当時のナインは自校を、そして自校の校歌を誇りに思っていたからこそその行動であったということ。木二中生の皆さんも、木二中を、そして木二中の校歌を誇りにしてほしい。

佐々木則夫さんの言葉を引用して…

今の中学1年生の皆さんが生まれた年に女子サッカー全日本チーム、なでしこジャパンがワールドカップを制覇しました。当時、なでしこジャパンの監督をされていたのが佐々木則夫さん。佐々木則夫さんが残した(まだご健在です!)言葉を木二中生の皆さんに向けた激励の言葉として引用させていただきました。

「成功の反対は、失敗ではなく、やらないことだ」

3年生はいよいよ高校生に、2年生は最高学年として木二中の顔に、そして1年生は「先輩」と呼ばれるようになる年。何事も事を成し遂げようとするると困難や痛みが伴うけど、決して負けないでほしい。諦めないでほしい。失敗を恐れないでほしい。失敗を恐れて何もできないことこそが失敗である。

見聞(けんぶん)を広めることとは

木二中生の皆さんはどんな冬休みを過ごしましたか?3年生はひたすらに受験勉強だったかな…。私とはというところ…、情けないことにこの年末年始、少しばかり体調を崩してしまい、しばらく日常生活がままならないことに。せつかくの年末年始なのに家でじっとしていなければならないこのストレスフルな生活…。開き直って、「見聞を広めるいい機会じゃないか」と自分に言い聞かせてこれまでにない年末年始を過ごしてみました。ドクターにとにかく安静にしていなさいと言われたので、ほぼほぼ自宅にこもることに。

プライムビデオでドラマを一気見。家族に頼んでTSUTAYAのレンタルDVDでドラマを一気見、そして映画視聴。その繰り返し。「ハイキュー」、「東京リベンジャーズ各編」、「UNFAIR」、「ブラックペアンシーズン1・2」、「半沢直樹シーズン1・2」、「アバランチ」、「ドラえもんシリーズ」、「クレヨンしんちゃん」、「MIU 404」、「マイファミリー」、「VIVANT」…。そしてたまに読書するという毎日…。

意外にもドラマや映画とはいえ、いろいろなことを考えさせられることになろうとは。人生、人間関係、仕事、家族、仲間、友情、決意、覚悟、未来、社会、戦争、金融、医療、法医学、組織、スポーツ…。

それぞれのジャンルについて考えさせられるばかりでなく、それぞれの作品にはしっかりとメッセージ性があって、キャストの台詞には数多くの名言が。

時に組織をあくする立場として考えてみたり、社会の一員としての立場で考えてみたり、父親として、男として、またある時には日本の歴史を顧みたりと「見聞を広める」にはこんな生活も「アリ」なのかなあ…と無理矢理決めつけて過ごした年末年始でした。

2025年、木二中にとって、木二中生にとって飛躍の年になりますように…。